



SUAA

Shimane University Alumni Association

島根大学同窓会連合会 機関誌

March.2008 Vol.2

島根大学同窓会連合会事務局

〒690-8504 松江市西川津町1060 島根大学附属図書館1F
TEL.0852-32-9725 E-mail:suaa@jn.shimane-u.ac.jp

同窓会連合会

活動状況

第1回ホームカミングデーを開催

同窓会連合会では、10月6日(土)に島根大学と共催で「ホームカミングデー」を開催しました。このホームカミングデーは、卒業生の皆様に現在の島根大学の様子や教育・研究・医療等の活動状況を理解していただくとともに、同窓生同士の交流又は在学生との交流の機会としてもらうために企画したものです。歓迎式典では、本田学長及び同窓会連合会長の挨拶のほか、各学部同窓会長等からの活動状況等報告が行わ



れました。そして、本学教育学部卒業生で、世界で活躍されているオペラ歌手の藤田卓也氏(ピアノ:佐藤美紀子さん(本学教育学部卒業))によるテノール独唱では、島根大学歌「天高く」、「音楽の夜会歌曲集より「踊り」」などのほか、旧制松高寮歌「青春の歌」も披露されました。また、特別講演会では、宇宙航空研究開発機構執行役 山本昭男氏(本学文理学部18期卒業)による「我が国の宇宙開発の現状、そして未来」と題した講演が行われ、人工衛星による最先端の観測成果や通信衛星等による高速通信網の実現や災害対策への活用など、とても興味深い講演が行われました。



なお、歓迎式典に先立ち、同窓会連合会の役員会を開催し、来年度の活動計画等が決定されました。ご参加いただきました多数の皆様には、ご多忙の中大変ありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

島根大学広島同窓会活動について



母校の開学50周年を迎えた平成11年(1999年)を前に、「広島で、法文・教育・総合理工・生物資源科学部の4学部合同同窓会を設立し、同窓生の輪を広げよう!」とのテーマを掲げ、同窓生30余名で構成する準備会での周到な準備を経て、平成12年1月、第1回広島同窓会総会を開催し、広島県内の同窓生が180名参加しました。

広島同窓会は、「同窓生同士の親睦と情報交換を図るとともに、母校の発展を応援すること」を目的としており、①総会は、2~3年ごとに開催するとともに、毎年、②広島に就職をした若い同窓生などを交えての納涼懇談会開催、③1月に開催される都道府県対抗男子駅伝大会での島根県チーム応援、④年2~3回のゴルフコンペ開催、⑤大学の就職関係者を広島の地場企業関係者へ紹介するなどの活動をしています。

第2回総会は、平成14年11月(90名)、第3回総会は、平成17年9月(110名)にそれぞれ開催しました。

第4回の総会は、2月初旬、役員24名が集まり、「今年の8月9日(土)午後1時~4時、メルパルク広島で開催し、参加者目標は120名とする。」ことを決めました。5月下旬には開催の案内を送付することにしています。広島同窓生にお知り合いがいらっしゃいましたら、ご連絡をお願いします。



広島同窓会の良さは、「多種多様な分野で活躍する4学部の同窓生同志の異業種交流を通じて、同窓生一人一人の視野の拡大に役立つとともに、仕事の領域を大きくする糸口になる。」ことにあり、今後とも、このことを大切にしながら広島同窓会を運営したいと考えています。なお、平成17年10月、広島同窓会のホームページを試験的に作成していますので、ご覧下さい。

[<http://www17.ocn.ne.jp/~h-shimad/index.htm>]

平成20年度活動予定

- ホームカミングデー(第2回)の開催
期日/10月11日(土)
企画内容/講演会・演奏会・キャンパスツアーなど
- 機関紙の発行
機関紙「SUAA」の発行(年1回)
- 各同窓会へ支援
ホームページの運用支援
- 卒業後の連絡先調査

同窓会HP/ <http://www.suua.shimane-u.ac.jp/>



法文学部同窓会

活動状況

平成19年は同窓会活動の更なる活性化のきっかけとなる大きな出来事がありました。平成17年12月に既存5学部の同窓会が連合した島根大学同窓会連合会(会長 江口博晴氏:文理11期)が発足しましたが、同連合会と大学が共催で、各学部同窓会と連携した本格的な事業として、昨年10月6日(土)に、「ホームカミングデー」を実施しました。「大学祭」の時期に併せて、母校島根大学の今を見ていただき、同窓生を暖かく迎えようとの趣旨で、すばらしい秋晴れ下、行われました。法文学部同窓会では、「ホームカミングデー」同日夕方から「法文学部同窓会交流会」を大学近くのホテルで開催、「ホームカミングデー」に参加した同窓生どうして楽しく和やかに、また、有意義な情報交換の場を持ちました。又、昨年6月には関西・東京で各支部単位での同窓会が盛大に開催されました。

◇ホームカミングデー・法文学部同窓会交流会

平成19年10月6日(土) 10:00~ 17:00 島根大学内

法文学部同窓会交流会は同日17:30~ 於:レインボープラザ

◇島根大学文理学部文科・法文学部関西同窓会

平成19年6月1日(金) 18:30~20:30 於:徐園(大阪市西区)

◇島根大学法文学部東京支部・文理学部在京同窓会

平成19年6月9日(土) 17:30~ 20:00 於:KKRホテル東京(都内)



平成20年度活動予定

本年秋のホームカミングデー及び法文学部同窓会交流会に多くの同窓生が集うことを期待しています。各支部の動きとしては、第4回島根大学広島同窓会の開催も予定されています。同窓会年報「沁春」第4号の発行準備も進めています。法文学部同窓会名簿については、平成17年4月に施行された個人情報保護法の趣旨を踏まえ、名簿管理を厳重にする観点から従来の販売方式を改め、継続した会費納入者等に限り無料で配布することとします。新名簿の配布は平成21年春の予定です。

○島根大学ホームカミングデー・法文学部同窓会交流会

(ホームカミングデー)

日時:平成20年10月11日(土) 1日 場所:島根大学

*ホームカミングデーは島根大学同窓会連合会及び島根大学が主催するもので、講演、キャンパスツアー、在学生との交流、演奏会、大学祭見学などを内容

連絡先:島根大学同窓会連合会事務局(電話)0852-32-9725・6603

(法文学部同窓会交流会)*ホームカミングデーに併せて開催

日時:平成20年10月11日(土) 17:30~

場所:レインボープラザホテル(0852-27-6900)を予定

会費:5千円(記念撮影代含む)

連絡先:島根大学法文学部同窓会事務局

吉山 治(文理29期、1981年卒)(携帯)090-7133-4980 FAX0852-32-6215
〒690-0821松江市上東川津町714-48 E-mail:pg041101@mable.ne.jp

○第4回島根大学広島同窓会

広島同窓会は平成12年1月、学部の垣根を越えた横断的な同窓会を立ち上げ、今回、第4回目の総会を開催します。4学部(法文・教育・総合理工・生物資源)同窓生の親睦と情報交換を図るとともに、広島から、母校の発展を応援する活動に取り組んでいます。

日時:平成20年8月9日(土) 13:00~16:00

場所:メルパルク広島6階「平成の間」広島市中区基町6-36

会費:男性会員—7,000円、女性会員—5,000円 参加者目標:120名

連絡先:同窓会副会長・事務局 滑(なめら) 携帯090-9460-9535

○同窓会年報「沁春」第4号の発行

投稿〆切:平成20年9月30日 *詳しくは年報「第4号投稿の呼びかけ」参照

○同窓会名簿の発行

平成20年度に新名簿の準備・編集作業を行い、配布は平成21年春の予定

同窓生からの近況報告



アメリカ図書館司書として

ハーヴィー(旧姓 児玉)佳奈

法文17期(1998年卒)

島根大学卒業後、ニュージャージー州ラトガース大で図書館情報学修士号を取得後、シリコンバレー、サンノゼ公立図書館の司書として勤務し8年になります。唯一の日本出身司書として、当初は戸惑いながらも様々な違いを学んで来ました。専門の児童サービス業務から館内の管理や他のスタッフの取りまとめ等に、日本人の持つ「礼儀正しさ」「真面目さ」「きめ細やかさ」をも忘れず従事し、共に働く人々や利用者の方々に受け入れられ、励まされ、助けられて来たように思います。学生の皆さんには、国内外に関わらず、まず学び(まねび)、自分の持っていない面を吸収し、それから自分の持ち味を見つけ、仕事や私生活に活かして頂きたいと思います。

(米国・サンノゼ公立図書館勤務)



未来への約束・世界遺産「石見銀山遺跡」

大國 晴雄

文理26期(1978年卒)

「登録、登録!」、これがニュージーランドの世界遺産委員会の会場から大田市役所に電話した時の私の第一声です。島根県と大田市などが共同した取り組みを始め、12年目、大学卒業から30年を迎える年に、期せずして世界舞台の一端に関わらせていただきました。先行する世界遺産に比べれば準備はしてきたつもりでしたが、やはり想像を超える来訪者となり、対前年比で倍増し、年間80万人にも届くかというところ。調査や整備も住んでいる皆さんとの調和第一で進めつつあります。世界遺産の登録とはその保護について未来へ向かって約束をしたことでもあり、日々今度は協働した取り組みを続けています。(大田市役所勤務)



同窓会HP/
<http://www.gaku-sei.net/l-douso/>



教育学部同窓会

活動状況

教育学部同窓会は、例年通り予定されていた事業を推進しており、現在は第59号の会誌の編集・校正も終り、発刊される日を待っているところです。この会誌も、前号から永年表紙を担当していただいていた「榎田 勉先生」から「梶谷 修弘先生」へとバトンタッチがなされ、新しい雰囲気をもたらせるものとなっています。また、会誌の目玉として旧研究室による座談会を連載しており、この度は心理学研究室に登場していただきました。

学部は、右の写真にあるように、1期・2期棟(左側)は耐震工事を昨年度終えきれいになっておりますが、その棟から奥右の3期～5期棟の耐震工事がまもなく終わろうとしているところです。窮屈な部屋に閉じ込められていた多くの先生方も、まもなくリニューアルされた研究室に戻られることでしょう。あわせて、学部同窓会事務局も名村さんのご自宅に避難していただきご迷惑をおかけし、また会員の方々にもご不便をおかけしていましたが、まもなく新しくなった学部棟の一室に入る予定になっております。



平成20年度活動予定

- 4月4日(金)／島根大学入学式(くにびきメッセ)
- 6月／平成19年度会計監査・役員総会
- 7月／同窓会誌原稿編集委員会
- 8月／同窓会誌掲載座談会打ち合わせ会
- 9月／同窓会誌掲載座談会
- 10月／同窓会誌編集委員会・同窓会名簿の発刊(4年毎 オリンピック開催年)
- 12月／同窓会誌校正会
- 2月／教育学部卒業生、3回生研究室(講座)代表者会・事務局会
- 3月／常任理事会
- 3月25日(水)／島根大学卒業式(県民会館)

同窓生からの近況報告



岡山支部の現状と課題

宮脇 慶輔
17期(1966年卒)

平成20年の冬は岡山でも例年に比べ積雪量が多く、大変寒い日々ですが、昭和38年の島根県下でのいわゆる「38豪雪」の年を松江で学生時代だった事がなつかしく思い出されるなあと、岡山支部の4名の評議員で色々と話し合っているところです。県下でしばらく途絶えている活動が再開できるための知恵を出し合っていますが、なかなか妙案が出ないのが現状です。同級生の集まりは県内に幾つか有るようですが、全体への広がりになかなか発展しません。我々現役を退いた会員と現職の仲間をどうつなげばよいか課題です。しかし、着実に一步一步前進する支部にするために、これからも頑張っていこうと考えています。

(教育学部同窓会岡山支部長)



50周年記念集会。有感

東京支部顧問 木下 正次
東京支部長 伊藤 範子

「感動の大集会、今後が楽しみ」の賛状複数拝受。当日を想起し感無量。成功は一に謙虚・誠実な伊藤支部長中心に大活躍役員に。即ち意欲溢れる97歳今岡顧問はじめ元支部長5名を含む役員11名の目標へ向け役割完遂の賜物である。曰く「支部態勢確立」、ネットワーク策定、日程他、島田会長ご臨席要請、準備会毎に作業項目、勸奨会員の役割別担当など諸決定と、役割完全遂行及び確認。まさに決定即実践活動は準備会の都度成功への自信を増大してくれた。かくて、当日30有余名。感動大集会に。次回も既に50名に迫る約束が。嬉しい限りである。今後は、会員の期待に応え「楽しみ、健やか、役立つ」運営をと願っている。乞う!! 関係各位ご支援を。

島根大学教育学部同窓会



同窓会HP/<http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/edu/index.html>



医学部同窓会

活動状況

現在の本部・中四国・東日本・関西・九州の5支部体制は、開学20周年事業を契機に、同窓会の財政基盤の整備と定例事業の確立を目的に行った組織改組に端を発しています。

毎年8月の第3土曜日に本部・中四国、東日本、関西、九州の順に支部総会を開催してきました。本部・中四国支部総会開催時には4年に1回の総会も開催しています。昨年は大学祭(くえびこ祭)に合わせて開催しました。支部総会も、現在4巡目に入っており、今年は東日本支部総会が東京で開催されることになっています。

平成16年から、卒業生と在学生の情報交換の場として、大学祭で学生を対象にしたパネルディスカッションを開催しています。昨年は、大学で活躍中の同窓生に島根大学医学部の魅力について語ってもらいました。平成16年には研究助成と地域医療貢献顕彰の両事業もスタートさせ、これまで13名の同窓生に研究助成を行い、5名の同窓生を顕彰しました。

同窓会報と名簿の発刊は、同窓会の設立目的である会員相互の親睦の基礎をなすもので、もっとも重要な事業と考えています。同窓会報は、毎年3月に発刊していますが、全ての同窓生の経験が同窓会の貴重な財産と考え、毎年多くの同窓生に執筆をお願いしています。同窓会名簿は4年毎に発刊しています。個人情報保護法に則って、名簿の情報管理には、これまで以上に慎重に対応しています。



平成20年度活動予定

- 平成20年8月/東日本支部総会
- 10月 大学祭パネルディスカッション
 - 12月 医学研究・医学研究奨励賞
地域医療貢献賞公募
- 平成21年3月 同窓会報発行
年次総会
医学研究・医学研究奨励賞
地域医療貢献賞授与式



同窓会HP / <http://www.med.shimane-u.ac.jp/alumni/>

同窓生からの近況報告



島根から地域医療の風を

阿部 顕治

島根医科大学3期(1984年卒)

私は昭和59年に島根医大を卒業し暫く母校で勉強した後、出身地の千葉に帰り一般病院で内科勤務医として働いておりました。再び縁あって島根県西部の小さな山村、弥栄村の国保診療所に赴任し、早12年経ちました。この間、市町村合併など地域を取り巻く状況が変わりましたが、多くの方々の支援を得て、浜田市内のへき地の4つの国保診療所を5人の医師で診療や保健活動を展開する体制ができました。同窓8期の北條宣政先生も加わっています。そして毎年20人を超える医学生や研修医が私たちの診療所に実習に来てくれています。厳しい医療情勢ですが、同窓の皆さんと力を合わせ、島根から地域医療の風を起こしたいと思います。(浜田市国民健康保険弥栄診療所 所長)



母校

梶 靖

島根医科大学8期(1995年卒)

私は平成元年3月に島根医科大学医学部を卒業しました。平成元年といえば日本初の生体肝移植が母校で行われた年です。卒業1年目の私でさき驚きとともに誇らしさも感じました。地方にいても最先端の情報を発信できることを間近に見て、無限に広がる医学の可能性を感じ、プラス思考で物事を進めるようになりました。私は現在母校を離れ、栃木県の獨協医科大学で放射線医学の診療・教育・研究に従事しています。研究面では、特にMR装置を用いた診断や前立腺の代謝産物測定に力を入れています。平成19年には私の出身地である大田市の石見銀山が世界遺産に登録されたことに、元気をもらいました。いつも郷土と母校を応援しています。(獨協医科大学 放射線医学講座 教授)



総合理工学部同窓会

活動状況

第17回総合理工学部同窓会理事会が平成19年3月17日に開催され、定例の平成19年度事業計画の審議と、平成18年度の会計報告があり、また、島根大学ホームカミングデーへの参加や、島根大学支援基金の募金活動への協力について意見が交わされた。

予てより会員の方々から要望のありました総合理工学部同窓会のホームページについては、島根大学事務局のご支援により平成19年4月に立ち上げることができました。なお、島根大学同窓会連合会のホームページも既に公開されており、同窓会と大学が良好なコミュニケーションをとり緊密に連携していくことになりました。

平成19年10月6日には島根大学ホームカミングデーの諸行事が行われ、これに合わせて総合理工学部同窓会役員懇談会が開かれました。島根大学の西川津キャンパスでは、山本昭男氏(文理・理18期卒)の宇宙開発研究に関する特別講演を拝聴し、そのご活躍の様子的一端を伺い、総合理工学部同窓生として心強く頼もしく感じた一時でありました。



山本昭男氏の特別講演

平成20年度活動予定

- 平成20年4月
新入生への同窓会の説明
(新入生オリエンテーション)
平成19年度卒業生の動向調査完了
(同窓会名簿の基礎資料)
- 平成20年10月
島根大学ホームカミングデーにあわせて、総合理工学部同窓会理事会開催及び同窓会懇談会開催
- 平成20年12月～21年3月
総合理工学部入学予定者への同窓会入会案内
総合理工学部同窓会理事会の開催
平成20年度卒業生の動向調査開始
(同窓会名簿の基礎資料)
- 平成21年度に同窓会名簿発行予定

同窓生からの近況報告



Human service

押村 光雄

文理・理19期 (1971年卒)

昭和46年3月に文理学部理学科生物学専攻を卒業後、国内外の6教育・研究施設を渡り歩き、郷里(鳥取県境港市出身)で現職に付き19年目に入ります。どこで生活しても、我がふるさと、山陰ほど良いところはありませんでした。自分にとってトータルな人生として何が良いか知ってしまったからです。今年は還暦の年男です。一昨年は大病を思い、我が人生を振り返り、生と死について考えさせられ、ちょっと人間ができたかのように感じておりましたが、回復し、元気を取り戻すに伴い、また元の我が儘な自分に戻ってしまっています。ところで10年ほど前、米国のある大学の医学部の正面玄関に、「Human service is a rent for living in this planet」というメッセージを見て、そのスケールの大きさに大変ショックを受けました。その意味で私に出来るHuman serviceは、現在の学生達の将来へのサポートをする事と思いながら、主に大学院の学生達と共に遺伝子・再生医療に向けた基礎研究を行っています。幸いにも、研究費及び人的支援の面においても、十分にサポートも受けてきており、地方大学にいるハンディーはあまり感じないでいます。「地方だから」という考えは思い込みに過ぎません。地方大学の学生は非常に純粋で、教官と学生との間の信頼関係も築きやすいと思います。願わくば、国の政策も、国民の意識も、中央中心ではなく、トータルハピネスが地方中心であって欲しいものです。私から見れば、地方の方がよほど幸せになれるので、もし選択肢があるならば「ふるさと」にお帰りになられたらよろしいのではないのでしょうか。そして、自分のHuman serviceができれば良いですね。(鳥取大学大学院医学系研究科 教授)



同窓会HP / <http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/riko/index.html>



生物資源学部同窓会

活動状況

故安達一明先生を偲ぶ会開催

安達一明先生は、昭和26年現在の生物資源科学部の前身である島根農科大学に赴任され、作物育種学担当として27年間を島根農科大学、島根大学で教鞭をとられ、その後昭和44年からは島根大学農学部長を、昭和48年からは学長を務められ48年間の長い間教育、研究一筋に携わられましたが平成19年3月御年92歳でお亡くなりになりました。

去る7月31日松江において安達一明先生を偲ぶ会を開催したところ、先生のご友人、島根農科大学、島根大学、島根女子短期大学の同僚・後輩の先生方、卒業生たち約70人が参加され、亡き先生の優しくおおらかで温かなお人柄を改めて偲びながら会を終りました。



○第2回評議員会および理事会の開催

開催日／平成19年5月24日

○第3回評議員会および理事会の開催

開催日／平成19年10月6日

平成20年度活動予定

- 同窓会名簿の発行(平成20年8月)
- 同窓会総会の開催(平成20年11月)
- 評議員会の開催(平成20年5月、平成20年10月)
- 評議員会の活動強化

島根大学生物資源科学部同窓会



同窓会HP / <http://www.suaa.shimane-u.ac.jp/life/index.html>

同窓生からの近況報告



人との出会い

石田 源次郎

農学部4期(1971年卒)

昭和47年に農学部農学科を卒業し、37年の年月が経った。振り返ると、この間の人との出会いが私の進路を大きく左右している。現在、広島市植物公園に勤務しているが、これは大阪府立大学大学院在学中に出会ったランの世界的権威唐沢耕司氏のお蔭である。植物園ではランの染色体を観察し、広島大学理学部田中隆莊教授の指導を受け、学位をいただくことができた。また、5年前に造幣局広島支局のヤエザクラ公開時に農学部名誉教授吉野蕃人先生にばったりお目にかかり、それがきっかけで、造幣局の桜の育成管理アドバイザー役をご一緒にさせていただくこととなった。その後は先生の体調の具合もあって、私が一人でその役を承っている。桜を深く学ぶチャンスを与えてくださったことと感謝している。



研究と教育の狭間で...

桑原 智之

農学研究科(2001年修了)

平成13年3月に農学研究科を修了しました桑原智之です。平成16年より、島根大学生物資源科学部研究員として、翌17年より同大学プロジェクト研究推進機構研究員として採用され、主に生物と無機材料を用いた水質浄化手法について研究して参りました。生活排水の浄化から湖沼の水質浄化に至まで、幅広く自由に研究をさせていただきました。平成19年10月に生物資源科学部助教に採用され、「研究」に加え「教育」を行う身分となりました。まだ採用されて間もないですが、これまでは研究成果のみを追求していれば良かったのですが、これからは自分の成長も然る事ながら、それ以上に学生を成長させ、社会に送り出すという重要な職に就いたこと、責任のある立場になったことを今更ながら実感しております。教員としてはまだまだ半人前ですが、これから多くの学生と接し、研究を通じた教育とは何かを自分なりに見つけていきたいと思っています。そして、卒業した学生が気軽に立ち寄れる研究室をつくることを目指して行きたいと思っています。(島根大学生物資源科学部 助教)

旧制松江高等学校同窓会

活動状況

1. 会議・集会

全国各地の支部から選出された理事による全国理事会を、年1回、東京、大阪、松江の3箇所のうちから、廻り持ちで開催する。松江での理事会の機会(3年に1回)に全国総会を併せて開催する。

各支部では独自に支部総会、懇親会、講演会、ゴルフ大会その他の同好会などを催している。

2. 同窓会員との連絡、情報交換

松江の同窓会本部から、同窓会機関誌「翠松」を年3回発行し、各支部活動の状況、会員の動静、消息、会員の旅行記、会員の文芸作品の発表、あるいは各期クラス会の報告等を掲載する。

3. 同窓会本部の活動

19年度には、定例の会議、機関誌の発行などの業務とともに、第11回松江寮歌祭を開催した。

島根、鳥取在住の旧制松江高校及びそれ以外の旧制高校、大学予科等の卒業生を糾合して、松江寮歌祭振興会を結成し、全国の友に呼びかけて、松江の地での旧制高校寮歌祭を開催すること11年。去る4月には、全国から30近い旧制高校、大学予科の卒業生200余名が集まり、各校が誇りとする寮歌を熱唱交歓した。



松江寮歌祭

平成20年度活動予定

1. 定例の会議・集会等

同窓会全国理事会を20年度は、大阪で開催する。
各支部では、支部の実情に応じて独自の企画で集会その他の行事を行う。

2. 機関誌「翠松」の発行(年3回)

後継者のない旧制松江高校の場合、同窓会員の高齢化に伴う会員数の急減とこれによる各種集会の参加者の激減により、同窓会活動の様態の変化が著しい。会合のあり方の工夫が必要となってくる。このため、同窓会機関誌「翠松」による情報提供、情報交換とともに、母校に係る、あるいは母校を偲ぶよすがとなる物や人についての情報をも載せておく必要がある。

3. 寮歌祭活動

青春時代への回帰のよすが(縁)となっている旧制高校の寮歌は、全国各地の寮歌祭への参加や松江寮歌祭を通じて、今やわれわれ同窓会員の心の支えともなっている。4月は松江寮歌祭の時である。

同窓生からの近況報告

バオバブ並木の夕景

榎本 亮三郎

20期理甲1(1942年卒)

マダガスカルはアフリカの南東、インド洋に浮かぶ世界で4番目に大きい島で、面積は日本の1.6倍もある島国です。ゴンドワナ大陸の一部が約1億8千万年前に分裂してできたものと言われています。他の大陸とは孤立しているため、ほかの地域では見られない固有種の動植物が多く見られます。その中でも「横つとびの猿」として有名な「ペローシファカ」や奇妙な樹形の「バオバブ」などは日本でよく知られています。バオバブの巨樹は高さ20メートルを超え、枝は上部だけに広がり、幹は柔らかくてスポンジのようになっているため、この中に水分を溜め込んで貯水タンクの役割を果たして、雨の少ない地域でも



バオバブ並木の夕景 モロンダバにて
(07.6.17 筆者撮影)

生息しているのです。マダガスカルが、フランスの植民地から独立してマダガスカル共和国となったのは1960年で、首都は島のほぼ中心部の高地にあるアンタナナポリで、米を主食とする貧しい農業国で、道路や電気などインフラの整備が遅れているようです。